

ココが変わる! 病棟計画 パート2



今回は前回に引き続き、新病院の病棟について紹介します。前回は病棟計画の全体像やフロアの紹介をしましたが、今回は前回紹介しきれなかった点や、病室のイメージなど具体的な部分の紹介をしたいと思います。

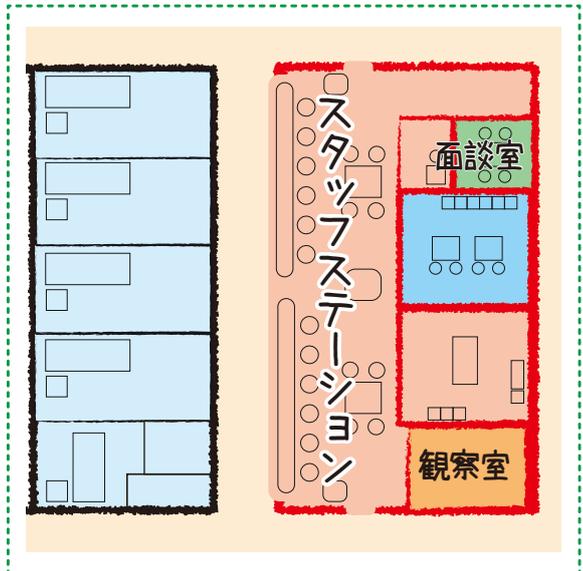
病室のイメージ



病室は 4 人部屋と個室が中心になります。現病院よりも広く、開放感のある病室になる予定です。

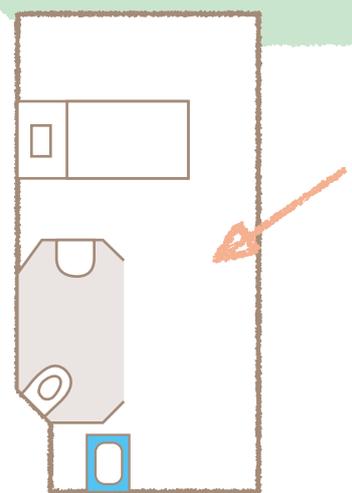
スタッフステーション (看護詰所)

大きなカウンターにより解放感のある造りになります。目の前には重症者用の個室があり、目も届きやすくすぐに駆け付けられます。



個室の特徴

Point
個室は各病棟 10 室程度あり、中にはユニットシャワートイレがついている部屋もあります。患者さんの病状に合った部屋を提供できます。



Point

前室付きの個室

個室の中で1室は前室があります。感染対策が前室でできることで、感染症に罹患された患者さんも安心して入院していただくことができます。

Point

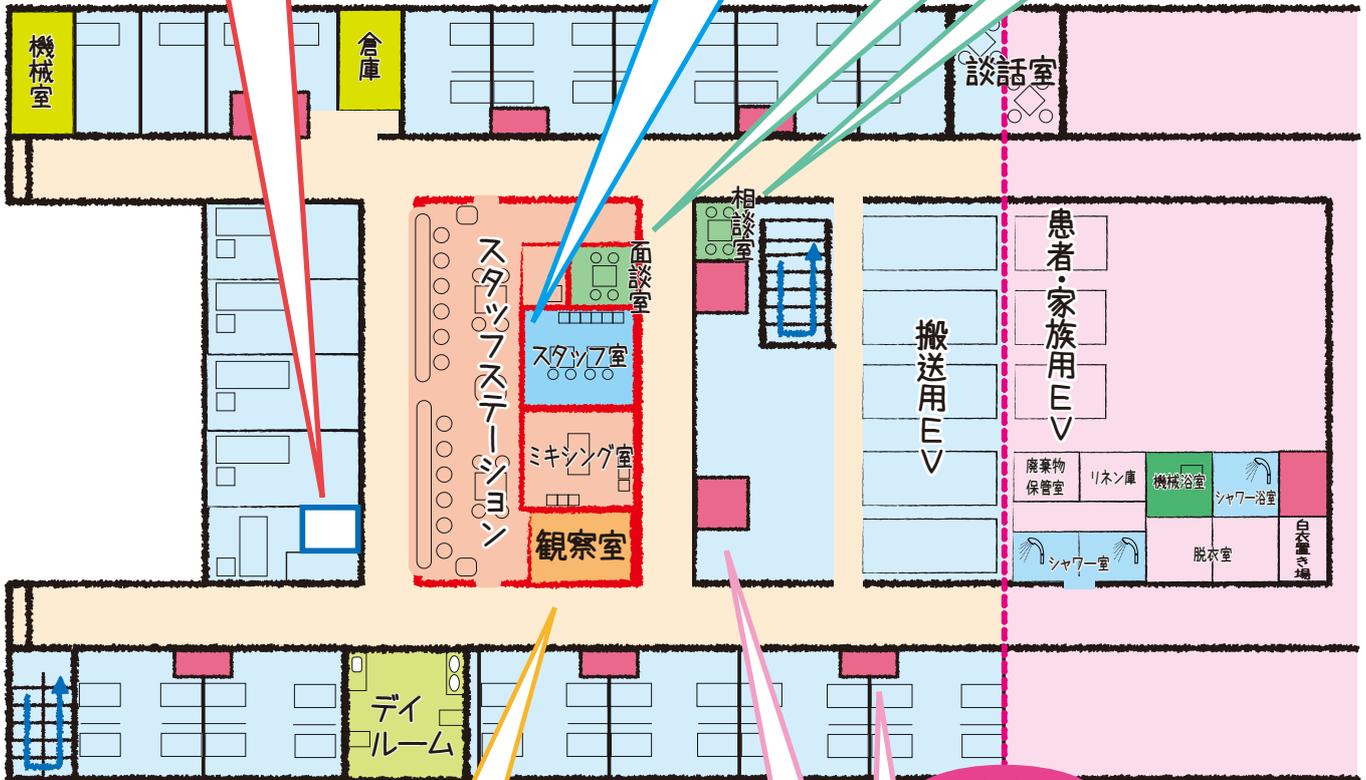
スタッフ室 (休憩室)

スタッフ室は職員の労働環境の改善を考慮して現病院の1.5倍の広さになります。

Point

面談室、相談室

各病棟2室あります。患者さんやご家族からの相談にすぐに応じることができます。



左右対称

Point

観察室

特別な処置や観察を行うため、一時的にスペースが必要となった場合を想定して病棟ごとに観察室を計画しています。

Point

入浴室

浴室は各フロアシャワー室2室、機械浴室、介助用シャワー室を計画しています。患者さんの状態に合わせた入浴が可能になります。

Point

トイレ計画

各病棟、身体機能が低下している患者さんも安心してトイレに行けるよう、2部屋毎に1つを計画しています。また、多目的トイレも2種類ずつあり、麻痺がある患者さんも身体機能に応じて使用ができます。

